

水道管の凍結にご注意ください

寒波により気温が低くなると、水道管内の水が凍結して、水が出なくなったり、水道管が破裂して漏水する可能性があります。特に露出していたり、北側や日陰、風当たりの強い場所の水道管は注意が必要です。

凍結を防止するためには、水道管に保温材(布やタオルなど)を巻き付け直接外気に触れないよう保温したり、蛇口を少し開けて水を出しておくことが有効です。凍結して水が出なくなった場合は、自然に溶けるまで待つか、凍結した部分にタオルをかぶせ、その上からゆっくりぬるま湯をかけてください(熱湯は水道管が破裂する恐れがあるので注意が必要です)。

万が一、水道管が破裂した場合は、メーターボックス内にある元栓を閉めて、水を止めた上で、最寄りの指定給水装置工事事業者へ修理を依頼してください(指定給水装置工事事業者については市のホームページをご参照ください)。



【お問い合わせ先】 市水道課

☎32・6188/FAX35・0647
Mail:suidou@city.komatsushima.
i-tokushima.jp

休日・夜間の病気やケガの時

市保健センター
☎32・3551

休日診療

午前9時〜午後6時

※受診前に必ず医療機関へ電話してください。

月 日	実施医療機関	住所	電 話
1月9日(日)	金磯病院	金磯町	33・1211
1月10日(祝)	江藤病院	大林町	37・1559
1月16日(日)	碩心館病院	江田町	32・3555
1月23日(日)	金磯病院	金磯町	33・1211
1月30日(日)	ライフクリニック	赤石町	37・1811
2月6日(日)	金磯病院	金磯町	33・1211

夜間診療

午後6時〜午後10時

市内の医療機関が交代で行っています。



■案内専用電話(☎33・2581)

■市消防本部(☎32・0119)

■市役所当直室(☎32・2111)

※休日・夜間診療は徳島新聞にも掲載されています。

※実施医療機関の都合により変更となる場合があります。

※詳しいことは市保健センター(☎32・3551)まで

小松島市観光名所シリーズ⑬ 徳島小松島港 クルーズ船寄港

小松島市は良港に恵まれており、徳島小松島港のうち本港地区、金磯地区、赤石地区の3つのエリアがあります。本記事ではクルーズ船寄港を中心に港について触れたいと思います。

本港地区は、以前は関西方面と結ぶフェリー乗り場として大変賑わい、クルーズ船としてはにっぽん丸が寄港しています。金磯地区は水深9メートルと11メートルの2岸壁があり、美しい日本最大の客船飛鳥Ⅱが寄港しています。赤石地区は水深10メートルと13メートルの2岸壁がありダイヤモンドプリンセス号や、MSCスプレンドイダ号が寄港したことがあります。

ダイヤモンドプリンセス号やMSCスプレンドイダ号といった外国籍船舶は、海外へ寄港するためパスポートがないと乗船できません。一方、飛鳥Ⅱ、にっぽん丸は国内

のみのツアーも開催しています。飛鳥Ⅱでは過去に小松島市民向けの船内見学ツアーを開催したこともあります。

各クルーズ船の入港時は歓迎セレモニーを行い、出港時は阿波踊りでのお見送りをします。幣協力会も各船寄港の際には市商工観光課との協力で市内観光ガイドを行ったり、岸壁に設営したブースで小松島市の名産品の販売を行い、乗客の方々に喜ばれています。このように官民協力して乗船客の満足度を盛り上げています。

国内クルーズ船運航は徐々に再開しつつある状況ですので、アフターコロナの折にはまた国内や海外のお客様を歓迎できればありがたいと考えています。

NPO法人 小松島市観光ボランティアガイド協会
副理事長 松田 守久

【お問い合わせ先】

NPO法人小松島市観光ボランティアガイド協会
こまつしま観光案内ステーション(JR南小松島駅内)
☎32・1537